

Title	Gallia 61号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2022, 61
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/87611">https://hdl.handle.net/11094/87611</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## あ と が き

新型コロナウイルスが世界中で広がり始めてから約2年が経ちました。数か月前には日本では収束に近い状況だったのに、今では新種のオミクロン株が猖獗を極めていきます(2022年2月初頭現在)。対面による集会や会食も、海外留学や海外出張も、極度に制限された状態が続いています。早期に元の世界が回復することを願うばかりです。

以下、いくつかお知らせを記します。

2021年3月、本学言語文化研究科・高階早苗教授が、2022年3月、同研究科・川北恭子教授が、それぞれご退職。高階先生、川北先生には、これまでのご功績に敬意を表し、本会へのご貢献に感謝申し上げます。

2021年4月、篠原学助教が本学言語文化研究科に着任されました。ご専門はフランス現代文学。篠原先生には、今後本会の運営にもご協力賜りますようお願いいたします。

2022年4月、本学大学院文学研究科と同言語文化研究科の統合により、「人文学研究科」が発足します(ただし、文学部と外国語学部は現状のまま)。人文学、言語文化学、外国学、日本学、芸術学の5専攻構成。豊中、箕面両キャンパスのフランス語・フランス文学に関わる全教員が本研究科に所属します。今後みなでますます一致協力して教育・研究に取り組んでいく所存です。

日本フランス語フランス文学会2022年度秋季大会は、大阪大学にて開催予定です。対面開催を期して、現在鋭意準備中です。

2022年4月、文学部フランス文学専修では、5名の新2年生を迎えます(5名進学は4年ぶり)。彼らの前途が明るいことを願います。

執筆者のみなさま、論文査読委員各位、そして本号の編集に献身的に努めてくれた学生委員諸君に感謝申し上げます。末筆になりましたが、会員諸兄姉のますますのご健康を祈念いたします。

(山上 浩嗣)

## GALLIA LXI

2022年2月22日印刷・3月5日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 山上 浩 嗣

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子